

3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715を利用
新技術「貼付式路面補修シート」がNETIS*1に登録
ポットホール*2やクラックなど舗装道路の路面異常の簡易補修やスリップ防止に

住友スリーエム株式会社(本社:東京都世田谷区 代表取締役社長:三村浩一)がNETISに申請していた新技術「貼付式路面補修シート」(NETIS登録番号: TH-120006-A)が、このほど登録されました。この新技術は、舗装道路の路面に発生するポットホールなどの簡易補修や雨天時の車のスリップ防止効果のある、「3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715」を利用したものです。



「3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715」(表面拡大)と本製品を使って路面に施工した様子

舗装道路の路面に発生するポットホールの上を自動車やバイクなどが通過することで、タイヤのパンクの原因や事故を引き起こすおそれがあるため、クラックの早期発見とポットホール発生時の迅速な補修対応が急務です。ポットホールやクラックの補修は、一般的に常温アスファルト混合物などを埋め、その上から転圧して補修しますが、交通量や降雨量・降雪量の多い地域では補修した箇所が剥離しやすいという課題がありました。また、道路の維持管理費用は道路増設に比例して増える傾向にあり、ポットホールやクラックの再補修にかかるコストも課題のひとつです。

このたびNETISの新技術として登録された「貼付式路面補修シート」(NETIS登録番号: TH-120006-A)は、3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715を利用したものです。柔軟性と耐久性のある合成ゴムをベースとしたシートで、短期間で路面になじむのが特長です。ポットホールを補修した上に同製品を貼付することでアスファルトの再剥離を予防し、補修を長持ちさせることができます。また軽度なクラックであれば、直接貼付することで簡易補修も可能です。表面には酸化アルミニウムと珪砂の微粒子をベースとした滑り止め骨材を採用しており、橋梁などで使われている金属系のジョイント部に貼付することで、雨天時の自動車やバイクのスリップ予防にも効果的です。施工性を向上するために、シート基材の裏面には感圧性接着剤を採用しており、転圧機を使わずに施工することができます。

【参考資料】

※1 NETISとは、「新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として(webサイトより引用)」国土交通省が運用しているデータベースシステムです。同データベースに登録されることにより、国および地方公共団体等の公共工事の発注者や応札者、施工者へ情報が提供され、技術の活用が期待されます。

※2 「ポットホール」とはアスファルトの表層が剥離する現象です。自動車やトラックの荷重により路面が傷んでくると、表層にクラックが発生します。そこに雨水が侵入することによってアスファルト基材自体の結合力を失い、劣化が進行します。さらにそこに荷重がかかることでアスファルトの表層が部分剥離を起こし、舗装表面に穴などが生じる現象です。

製品仕様**「3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715」**

サイズ 幅×長さ	色	梱包単位
610mm×22.8m	黒	1 巻
610mm× 5.0m		

【参考資料】

新技術情報システム「NETIS」に登録された本件に関する資料

http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/Search/NtDetail1.asp?REG_NO=TH-120006&TabType=&nt=nt

3M™ ステイマーク™ 路面補修材 L715に関するお問い合わせは
カスタマーコールセンター TEL: 0570-012-123

3M、ステイマークは、3M社の商標です。